

# 第47学年週刊情報誌 学 年 通 信

48回生版  
兵庫県立伊川谷高等学校 48回生  
発行所 〒651-2104  
神戸市西区伊川谷町長坂 910-5  
県立伊川谷高校 印刷室  
電話 代表 078-974-5630  
FAX 078-974-5631  
https://www.2hyogo-cad.jp/web/2/ikawadani-hs

紙面から  
5 4 3 2 1

これで2年成績確定だ  
記念品贈呈式&授賞式  
第47回卒業式挙行政  
生命の泉全滅か?  
語学研修記(前編)

兵庫県立伊川谷高等学校  
校歌(3番)  
作詞 黒部 亨  
作曲 岡村 健治

見はるかす  
訓練の道は 遠くとも  
われらに自主の 誇りあり  
眼あげ たくましく  
あすの世紀に羽ばたくところ  
なつかし母校 伊川谷高校

笑顔・夢  
学年キャッチフレーズ  
校訓  
自主協同

## これで2年成績は確定だ

2月19日(水)〜26日(水)の5日間、2学年最後の定期考査である『2学年本考査』が行われました。これで2年次の成績が決定します。  
「俺、欠点無いから余裕」  
「ちょっと待てよ」  
3年になったら進学にせよ就職にせよ、高校時代の努力の証として『評定平均値』という数字が重要になります。この数字は  
1. 1学年末の科目評価  
2. 2学年末の科目評価  
3. 3年1学期末の科目評価  
(いずれも10段階)

これをゴニゴニと計算して出します。なので、今回の成績で、評定平均値の3分の2は決まったようなモノです。  
「怖いよ〜」  
先日の『人事部体験』でも分かった様に、進学でも就職でも、選ばれるのは「遅刻欠席が少なく、評定平均値が高い」という数字が重要になります。何かと瀬戸際の人達は、今更そのれの計画性の無さを呪っていても仕方ありません。やれるだけの事はやって



試験前の最後の見直しです

## 進級、お金の準備を!

キチンと授業に出席して成績を取り、ヤンチャをしなれば、もうすぐ3年生になります。という事は:  
新しい教科書が必要になるんですよ。選択科目によりませんが、**8千円〜1万3千円**程度必要になります。3月18日(火)に現金を持って学校で購入です。今のうちに準備しておいて下さいね!



お金の準備を!

## 記念品贈呈式

2月27日(木)の2限目、47回生(3年生)は卒業式の予行と合わせて、記念品贈呈式・各賞授賞式・そして同窓会入会式を行いました。48回生が先輩と会す最後の場でした。  
記念品贈呈式では、47回生から学校へ『大型送風機4台』『PTAから47回生へ』『卒業証書ホルダー』『同窓会から47回生へ』『図書カード』

生徒会から47回生へ  
次に元生徒会役員と部活動部長への感謝状贈呈。学業成績優秀者、学校長賞(ポランティア部)・皆勤賞(5名)と続き、授賞式は終了しました。そして、3年1組だけ退場練習です。**パチパチパチ**拍手の中、会場中央を歩き、ぐるりと回って席に戻りました。48回生の参加なんてあって、1年間加はって、という間だよ。な、君達!



来いっ! 池田君春だええ!

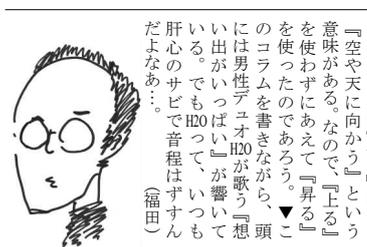
## 生命の泉 イカ高湖全滅か?

デカイ鳥の襲来により一度は絶滅の危機に瀕したイカ高湖の金魚、かろうじて生き残った5匹(学年通信13号参照)が核となり、数百匹にまで繁殖に成功しました。しかし2月21日(土)、またあのデカイ鳥の襲撃を受けて…  
再び静まりかえったイカ高湖、生命の息吹はどこかに隠れているのかい…



雪化粧のイカ高湖

頑張ってきたぞい!  
さあ、進学に就職!、これから卒業!、これからとっての本当の試験です。47回生の諸君、頑張りなさい!



(福田)



配布・返却・アンケートetc.で大忙し

2月28日(金)、予報に反して朝から肌寒い曇りの一日でしたが、そんな中、第47回卒業証書授与式が行われ、18名の卒業生が伊川谷高校を巣立っていきましました。  
大人と子供の狭間である高校3年間、コロナ真只中で入学してきた47回生、当初はいろいろとガマンしなければならぬ事も多かったですが、よく耐えました。そして

この日、3年間に思いをはせ、47回生は卒業式に臨みました。  
10時に式が開始されました。卒業証書授与では、各担当が自クラス生徒の呼名を行い、最後に代表1名が登壇し、卒業証書を受け取りました。次にNさんの在校生送辞の後、卒業生答辞が行われ、「3年間という長い時間、たくさんの人に支えられ」と話が続きました。そして、おおよそ1時間では終了し、卒業生は皆、晴れ晴れと退場していきましました。教職員も皆の巣立っ姿に思わず涙腺が緩んでしまいました。たくさんの大事なものをお返ししてくれてありがとう。そして47回生学年団の先生方、3年間本当にお疲れ様でした。

さあ、進学に就職!、これから卒業!、これからとっての本当の試験です。47回生の諸君、頑張りなさい!

## 第47回卒業証書授与式挙行政



- 式次第
1. 開式の辞
  2. 国歌斉唱
  3. 卒業証書授与
  4. 学校長式辞
  5. 来賓祝辞
  6. 来賓紹介
  7. 祝電祝詞披露
  8. 在校生代表送辞
  9. 卒業生代表答辞
  10. 校歌斉唱
  11. 閉式の辞

## 天性人語48+h

『大人の階段』昭和生まれの人には懐かしい響きではないだろうか。あだち充の『タッチ』と並ぶ代表作『みゆき』、そのエンディング曲『思い出がいつばい』。出てくる言葉で、『大人の階段昇る』は卒業ソングや合唱コンクールの定番とて多くの人に歌われた。『そうなの、人はある日急に大人になるのではなく、様々な経験を積む事によって、少しずつ人は大人になっていくのだ。まるで階段を昇っていく様に。成人の日という区切りはあるが、その日を境に何かが変わる訳ではない。長い時間と共に、少しずつ、少しずつ…』  
▼47回生が卒業した。高校卒業も、長い人生の中では大人の階段の一段に過ぎない。それでも卒業生達は、確実にこの階段を一段昇つた事になる。こうやって、長い人生、一段一段と噛みしめながら皆、大人の階段を昇っていくのだ。▼因みに、『階段をのぼる』の漢字は一般的には『上る』が使われる。しかし、『思い出がいつばい』の歌詞は『昇る』である。実は『昇る』には、『空や天に向かう』という意味がある。なので、『上る』を使わずにあえて『昇る』を使ったのである。▼このコラムを書きながら、頭には男性デュオH2Oが歌う『思い出がいつばい』が響いている。でもH2Oって、いつも肝心のサビで音程はずすんだよね…。(福田)

# 可能性

それは、伊川谷高校にたくさん溢れてます  
皆の笑顔と共に… 伊川谷高校

# 読者のページ

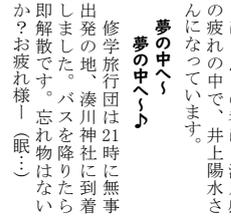
## School Teacher @ Voice



いよいよ修学旅行も最終日です。ツアーデスクでは先生も眠そうです(そりや気が張った状態の24時間営業4日目です)。

朝の健康チェックもドタバタです。前日に、「保健カード、先生に出したろっ」と大声で主張していたU君、やはり自分で持っていました。(こんなのばかりです)寝ぼけてズボンのチャックが開いたままの人もいます。時間になっても降りてこなくて、担任の先生が内線を確認しています。いつも時間ルーズな人達がこども引かかっています。(泣)。

途中のトイレ休憩では、『ふぁーむ地球家族』と書いてある焼きイモ販売車でイモを買う人達の姿がチラホラ。朝食足りなかつた？



『コーラみたいなバスに積んだら、クラス毎に5台のバスに分乗し出発です。まるで『コカコーラ』のようなバスが待っているらぁいりませんか!』

夕食が終わったからか、小樽の町をイカ高生がチラホラと征服しました。店内ではカゴ、店外では紙袋を抱えています。完全に『財布のヒモがゆるんでる』状態です。オシャレな小樽を散策する姿もバエますね。

伊丹空港から湊川神社まで、最後のバス乗車です。これで旅は終わりです。でもほとんどの者は、満足感の疲れの中で、井上陽水さんになっています。

一度集合し指示出し中

夢の中へ 夢の中へ

伊丹空港から湊川神社まで、最後のバス乗車です。これで旅は終わりです。でもほとんどの者は、満足感の疲れの中で、井上陽水さんになっています。



遅れてきても、食事はカツツリ食べます。このホテルのミルクは本当に美味い!一日のバワりの源です。食後は最後の部屋確認(破損調査や忘れ物チェック等)と出発準備です。意外とスムーズな移動は皆、スムーズに行っていました。さーば、ルズリットよ

バスは再び雪道を走り、11時15分、無事に小樽へ着きました。ちょうどお店を探して昼食に移るには良い時間です。実際、本誌編集長、結構イカ高生を探しました。なかなか出会えませんでした。皆早々に昼のエネルギー補充の様子でした。取材のためにだけにお店に入る本誌編集長、お店の人にゴメンナサイです。店の中では、美味しそうな海鮮丼をカメラに向けてる3人+醬油受け皿を向けるT君の姿が。ひよっとして料理が来るの、遅れてる?? もっ少し待ちましょ!

小樽散策が終わってバスの駐車場に戻ると何かゴチャゴチャしています。「早くバス乗ってくれえっ」と叫んでも、「まだ間に合う!」と勝手な事を言っています。しかも集合時刻過ぎてから、「トイレっ」

「早くバス乗ってくれえっ」と叫んでも、「まだ間に合う!」と勝手な事を言っています。しかも集合時刻過ぎてから、「トイレっ」

あぁ~ ネタが古い! NOKI-TVをなさい